

# 令和5年度重点取組事項

～国有林への多様な要請に応えるために～



国民の森林・国有林



九州森林管理局

九州森林管理局  
ホームページ



# 令和5年度 九州森林管理局 重点3課題と9つの取組

## 課題1 伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」への貢献

- 取組① 造林事業における徹底した軽労化・省力化
- 取組② 先端技術の積極的な導入による事業の省力化・高度化
- 取組③ 林業経営体における生産性向上・経営安定化への支援
- 取組④ 輸入材に頼らないサプライチェーン構築への貢献

## 課題2 公益重視の管理経営

- 取組⑤ 地域の安全・安心確保に向けた国土保全
- 取組⑥ 保護林の設定による世界自然遺産等の生物多様性の保全
- 取組⑦ あらゆる手段を駆使したシカ捕獲対策の強化

## 課題3 組織・人材・フィールドを活用した地域の課題解決への貢献

- 取組⑧ 市町村等の森林・林業行政への技術支援
- 取組⑨ 観光資源としての森林空間・森林景観の活用促進
- (再掲) 取組⑦ あらゆる手段を駆使したシカ捕獲対策の強化

# 取組① 造林事業における徹底した軽労化・省力化

- ・ 造林事業における担い手不足も踏まえ、植栽、下刈等の工程において軽労化・省力化に資する技術・施業方法を積極的に導入。
- ・ 特に、低密度植栽、長方形植え、中苗の活用拡大、下刈の省略、筋刈について普及・定着を図る。

## 低密度植栽(1800本植)の拡大及び長方形植の導入

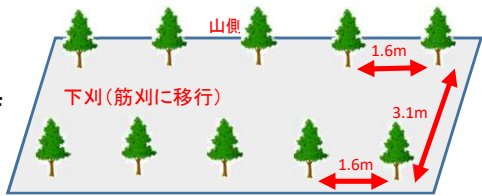
### 低密度植栽

植栽作業の軽労化のため、現在約2,000本/haの平均植栽密度から1,500~1,800本/haの低密度植栽を拡大(保安林の場合は指定施業要件に留意)。

※1,800本/ha以下の割合は、R4年度実績は18%

### 長方形植(1,800本植の場合)

従来の正方形植と比べて、列数が減少するため、植栽時の歩行距離は25%縮減される長方形植を導入。



(長方形植の例)

## ドローンによる苗木運搬の実証

植栽作業の軽労化のため、ドローンによる苗木運搬を実証。



ドローンによる苗木運搬の様子  
(高低差50m、直線距離300mを1回につき60本の苗木(コンテナ中苗)を往復約90秒で運搬)

## シカ影響簡易調査の導入

森林総合研究所と連携し、シカネット設置の省略を判断するために、植生への影響度の簡易な調査を導入。

(調査場所)

- ・ 成林したスギ/ヒノキ人工林
- ・ 隣接する明るい開放地(林道/作業道/若齢造林地)

(調査項目)

- ・ シカの糞や足跡があるか。
- ・ シカを目撃したか。
- ・ シカによる樹皮剥ぎがあるか。 等

## 中苗の植栽拡大

下刈り回数削減が見込める中苗の植栽を拡大。

### 主な取組

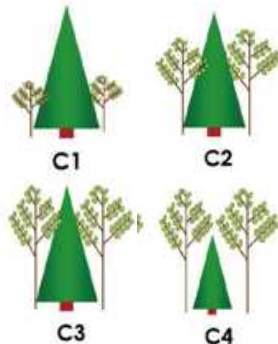
- ・ 苗木生産者へのコンテナ中苗増産の要請
- ・ 国有林における今後3年間の苗木需要見込みの提示



中苗の規格(右) ・ 苗高70~100cm  
・ 根際径: 7mm以上  
(普通苗の苗高は35~70cm)

## 下刈省略及び筋刈の拡大

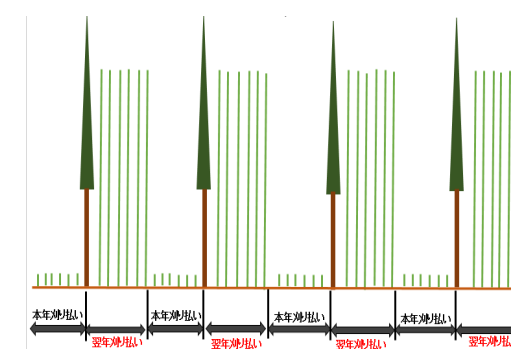
下刈作業の省力化のため、雑草木との競争状態を踏まえて下刈の省略と、筋刈を積極的に拡大。



下刈省略の基準。  
C1、C2では省略を検討。



下刈を省略した林地(C2相当)



基本的な筋刈りの例

## 取組② 先端技術の積極的な導入による事業の省力化・高度化

- 森林・林業・木材産業の分野においても、リモートセンシング等の新たな技術を積極的に活用する取組が進展。
- ドローンや地上レーザ等を積極的に導入し、森林資源情報や災害状況、地形情報等を把握し、事業の省力化・高度化を推進。

### 広範な業務へのドローンの導入

九州森林管理局ドローン活用チーム(仮称)

以下の取組を実施するチームを設置。

- ・災害発生時、ドローンを活用した被災箇所の状況把握や測量実施
- ・市町村等の関係機関向け技術支援として、国有林を活用した研修会等を実施 等

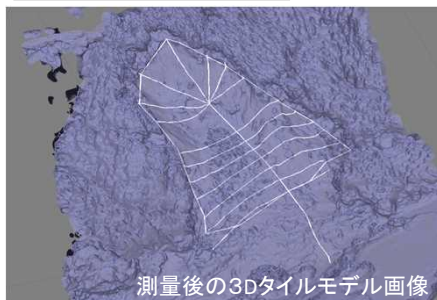


#### 事業の実行状況の確認



ドローンにより確認したシカネットの設置状況

#### 山地災害復旧業務



測量後の3Dタイルモデル画像

#### 豪雨発生時の被害確認



ドローンにより確認した林道の決壊状況



データを活用した復旧計画

被災現場を踏査することなく、ドローンによる空撮画像から測量を実施

### 地上3Dレーザの導入

木材の収穫量調査を省力化するため、地上3Dレーザを導入。



林尺を用いた従来の調査方法。対象木を1本ずつ測定。



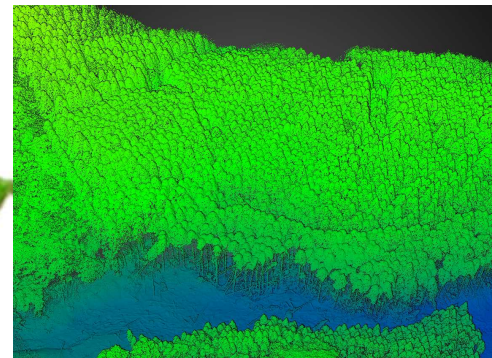
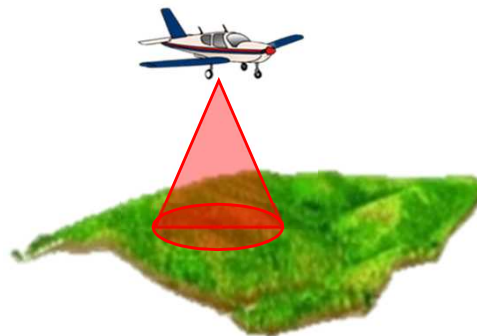
3Dレーザを用いた新たな調査方法。1箇所あたり45秒程度で半径10mの範囲の計測が可能。



### 航空レーザ計測の導入

地形情報及び森林資源情報を航空レーザ計測により把握。

- ・地形情報: 伐採区域の調整に試行的に活用。
- ・森林資源情報: 蓄積量等の精度を高め、森林計画策定に活用。



樹木等を立体化

## 取組③ 林業経営体における生産性向上・経営安定化への支援

- 森林整備と木材の安定供給を支える担い手の育成のため、素材生産の効率化や高付加価値化に取り組む林業経営体を支援
- 樹木採取権の設定により長期安定的な事業機会を提供し、意欲と能力のある林業経営者等の担い手を育成。

### 林業経営体育成の取組

#### 生産性の向上等に取り組む林業経営体の支援

##### 主な取組

- 高い生産性をあげた事業体などの優良事例を現地検討会により普及。
- 優良事業体の取組を総合評価落札方式の入札及び事業成績評価において評価。



優良林業経営体事業地における現地検討会  
(熊本県熊本市)

#### 日報管理による生産性向上の支援

立木から丸太を生産する請負事業を通じ、林業経営体が事業の効率化を図れるよう、日報管理の取組を支援。

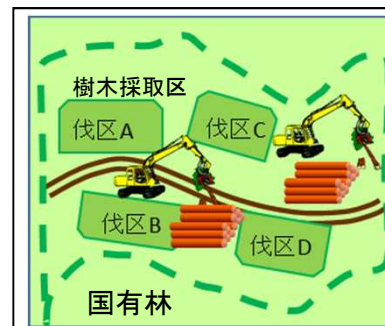
(林業経営体の間伐生産性の目標 R3:4.8m<sup>3</sup>/人日→R7:8m<sup>3</sup>/人日)



事業体からスマートフォンアプリにより入力された日報データを署等と共有。蓄積されたデータを評価・分析し、事業の改善に活用

### 樹木採取権設定による長期安定的な事業機会の提供

球磨川森林計画区に、区域面積190ha、採取期間10年の樹木採取区を指定。樹木採取を実施中。



#### 樹木採取権制度

国有林の一定の区域(樹木採取区)において立木を一定期間、安定的に伐採できる樹木採取権を設定

※現行の国有林の伐採ルールを厳守



長期・安定的な事業機会を提供

意欲と能力のある林業経営者等  
(森林経営管理制度の担い手)



長期的な視点に立った設備投資や人材確保

#### 樹木採取区に関する今後の取組の公表

樹木採取区が指定可能と見込まれる森林計画区と、マーケットサウンディング(MS)<sup>\*</sup>の実施年を公表(令和5年2月)。

| 森林計画区 | 北薩   | 始良   | 大隅   |
|-------|------|------|------|
| MS実施年 | R5年度 | R6年度 | R8年度 |

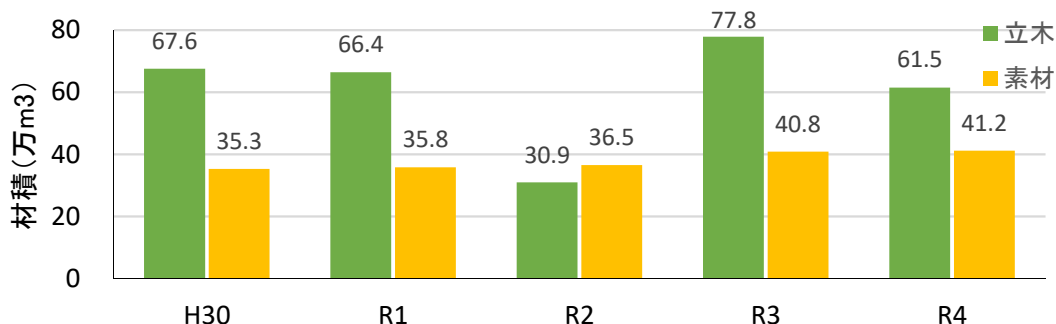
<sup>\*</sup>新規需要創出動向調査のこと。本調査の結果、確実な木材需要の増加が確認された場合は樹木採取区を指定。

## 取組④ 輸入材に頼らないサプライチェーンの構築への貢献

- ・ 国有林材の計画的・安定的な供給によって、より一層の国産材の安定供給・安定需要の確保に貢献。
- ・ 木材需給に変化が生じた際には、地域の木材需給の安定に資するために、国有林材の供給調整を機動的に実施。

### 木材の計画的・安定的な供給

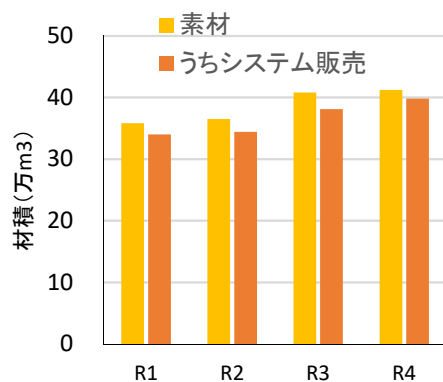
#### 九州国有林の木材供給量



※立木は立木材積、素材は丸太材積を計上。九州全体の木材供給量のうち、国有林からは約1割強に相当する木材を供給(九州森林管理局による推計)  
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、木材需要が減少したことから、立木販売の公売を一時見合わせたことにより、供給量が減少。

#### システム販売の推進

- ・ 国産材の需要拡大等に取り組む製材工場等と協定を締結し、丸太を安定的・計画的に供給。
- ・ システム販売の公募数量に対して約3倍の応募申請。



#### 立木販売結果の公表

民有林の立木の取引価格の形成に資する取組として、国有林の立木販売結果を公表。

#### 発注見通しの早期公表

森林整備や素材生産の発注見通しをHPで早期に公表。

##### 【HP掲載情報】

- ・ 事業実施場所、事業期間、作業の種類、事業量、入札予定時期 など



### 木材の需給動向等を踏まえた供給調整

有識者等を委員とした「九州森林管理局国有林材供給調整検討委員会」を開催。国有林材の供給調整が必要と判断した場合には、丸太の供給時期等の供給調整を実施。

| 日時                    | 供給調整取組み内容  |
|-----------------------|--|
| R2.3～7                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○立木販売の搬出期限の<b>一年間の無償延期</b>。</li> <li>○立木販売の公売の<b>一時見合わせ</b>。</li> <li>○生産請負事業の一部<b>発注見合わせ</b>。</li> </ul> |
| R2.8～11               | 国有林の立木販売の再開の要請があった事を踏まえ、<br>○分収造林等について <b>9月以降の販売の再開</b> 。<br>○一時見合わせとしていた立木販売について <b>11月以降の販売の再開</b> 。  |
| R3.3～4                | いわゆる第3次ウッドショックといわれる木材需給動向、市況動向等に対して<br>○令和2年度補正予算等による繰越事業及び令和3年度予算による生産請負事業の <b>早期発注</b> の取り組み。<br>○令和3年度の立木販売の前倒しを含めた <b>早期販売</b> の取り組み。        |
| R3.6<br>R3.9<br>R3.12 | 民有林の出材状況、原木価格の動向、工場等の原木仕入れ状況、製品価格の状況を注視しながら、国有林のこれまでの供給調整の取組を継続しつつ、追加の措置については、関係業界等からの情報収集を行い検討する。   |
| R4.3～.12              | 現時点での新たな供給調整の必要はないが、民有林の出材状況、原木価格の動向、工場等の原木仕入れ状況などを注視しつつ需給バランスを見極めながら、計画的な供給に努める。  |

- ※ **青字**は需要減に対応した供給調整取組内容、
- ※ **赤字**は需要増に対応した供給調整取組内容

## 取組⑤ 地域の安全・安心確保に向けた国土保全

- 地域の安全・安心の確保に向けて、治山ダムの計画的な設置や保安林整備等の事前防災・減災対策を実施。
- 山地災害発生時には、ヘリコプターによる被災状況調査等を迅速に実施するとともに、早期の災害復旧に取り組む。

### 事前防災・減災対策

関係機関と連携した流域治水の取組強化(流域保全総合治山事業)

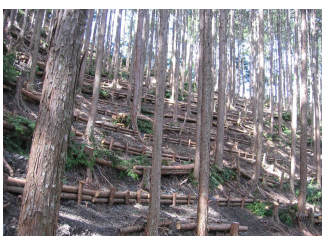
治山ダムの設置や保安林整備と筋工の配置等を計画的に実施。



治山ダムの設置による河川区域への土砂・流木の流出を抑制



流木捕捉式治山ダムの設置



保安林整備と筋工の設置による土壌の保全(イメージ)

### 山地災害危険地区における取組

治山事業実施率を向上(令和18年度末の実施率目標 100%)。



山地災害危険地区内の施設計画(宮崎県都城市)

### 海岸防災林整備

海岸林において、間伐、害虫防除、防風柵の設置等を実施。



防風柵による松林の保護(福岡県岡垣町)

### 災害発生時の迅速な初動対応

ヘリコプターによる被災状況調査を行い関係自治体に情報提供、迅速な復旧に向けて技術職員を被災地に派遣。



ヘリコプターによる被災状況調査(令和4年台風14号に係る対応状況)



民有林の被害調査への職員派遣(令和4年台風14号に係る対応状況)

### 大規模山地災害発生時の民有林直轄治山事業

平成29年九州北部豪雨からの復旧

| 区分  | 計画<br>H30~R9 | R4年度末  |        | R5年度   |
|-----|--------------|--------|--------|--------|
|     |              | 着工済    | 完成済    | 着工予定   |
| 溪間工 | 98基          | 71基    | 64基    | 5基     |
| 山腹工 | 12.4ha       | 8.75ha | 8.67ha | 0.42ha |



朝倉市道の上部において治山事業による復旧工事が完成。(福岡県朝倉市)

令和2年7月豪雨からの復旧

| 区分  | 計画<br>R2~R5 | R4年度末 |      | R5年度 |
|-----|-------------|-------|------|------|
|     |             | 着工済   | 完成済  | 完成予定 |
| 施設災 | 8箇所         | 8箇所   | 5箇所  | 3箇所  |
| 関連災 | 28箇所        | 28箇所  | 28箇所 | —    |



集落上部において治山事業による復旧工事が完成。(熊本県芦北町)

## 取組⑥ 保護林の設定による世界自然遺産等の生物多様性の保全

- ・ 森林生態系や希少な野生生物の保護を図るために、特に優れた自然環境を有する国有林を保護林に設定。
- ・ 九州にある2つの世界自然遺産地域はいずれも、その多くが国有林内に所在しており、引き続き、適切な保護・管理を推進。

### 保護林の設定

< 保護林の設定状況(令和5年4月) >

森林生態系保護地域: 7箇所 53,887ha  
 生物群集保護林: 11箇所 17,260ha  
 希少個体群保護林: 68箇所 4,004ha

### 保護林における重点的なシカ被害対策

重点的にシカ被害対策を実施する保護林17箇所のうち、令和5年度は8箇所にシカネットを設置予定。

#### ○ 設置予定箇所

- ・ 綾森林生態系保護地域
- ・ 祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域
- ・ 大森岳生物群集保護林
- ・ 白髪岳生物群集保護林
- ・ 霧島山生物群集保護林
- ・ 鬼の目山生物群集保護林
- ・ 犬ヶ岳ブナ等遺伝資源希少個体群保護林
- ・ 権現岳シオジ等遺伝資源希少個体群保護林



シカの侵入を防ぎ 植生を維持  
 シカの食害により裸地化

シカネット設置の効果  
 (白髪岳生物群集保護林/熊本県あさぎり町)

### 世界自然遺産の保護・管理

#### 屋久島世界自然遺産(平成5年登録)



亜熱帯から亜高山帯までの  
 植生が垂直に分布する国割岳  
 (鹿児島県屋久島町)

#### ○ 屋久島高層湿原保全対策

花之江河では、数十年単位の短期間で湿原の遷移が顕著化。令和4年度策定の保全対策に基づき、関係行政機関等と連携・協力して対策を順次実施。



学識経験者、関係行政機関等による現地調査(花之江河/鹿児島県屋久島町)

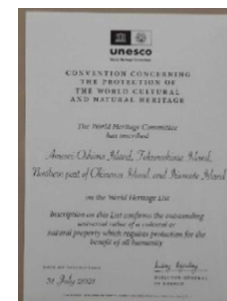
#### 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産(令和3年登録)



特別天然記念物アマミノクロウサギ  
 (鹿児島県奄美大島及び徳之島)



原始的なやんばるの森  
 (沖縄県国頭村・東村)



登録認定書



## 取組⑦ あらゆる手段を駆使したシカ捕獲対策の強化

- ・ニホンジカの生息域の拡大等による、林業経営や森林の公益的機能の発揮に影響。
- ・地元市町村・猟友会等とのシカ被害対策協定の締結や、新たなシカ捕獲技術の導入等により、シカ捕獲対策を強化。

### シカ被害対策協定の締結によるシカ捕獲の推進

職員や委託によるシカ捕獲に加え、市町村・猟友会等と「シカ被害対策協定」を締結し、シカ捕獲を推進。

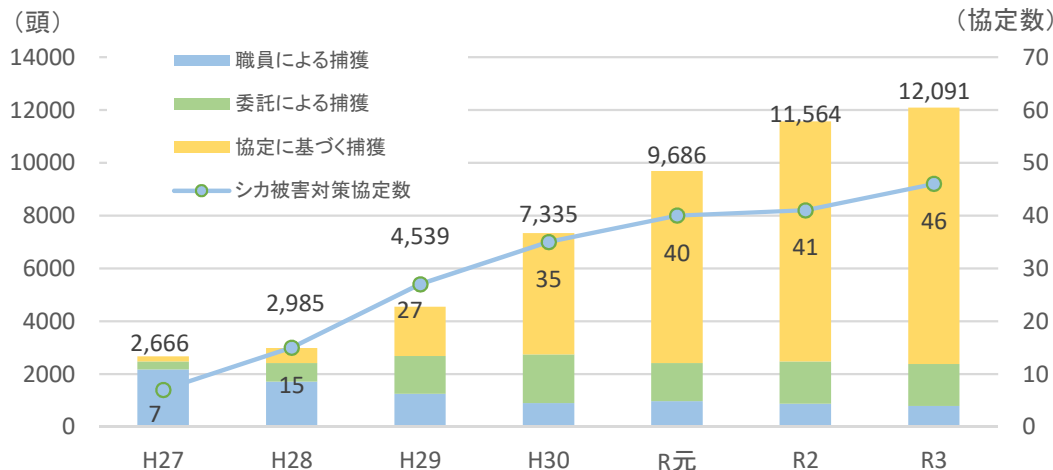
#### 協定の主な内容

- ・市町村・猟友会等によるシカ捕獲
- ・森林管理署から市町村等へのわなの無償貸与
- ・入林届の簡素化、林道ゲートの鍵の貸与等



森林管理署、市町村、猟友会による協定締結（福岡県宗像市）

### 九州国有林における協定等によるシカ捕獲頭数



※協定数は各年度末の数。R4年度末の協定数は51。

### 新たな技術によるシカ捕獲の効率化

#### 「小林式誘引捕獲法」の導入を推進

林野庁職員が開発した、高い捕獲効率が期待できる「小林式誘引捕獲法」を積極的に普及。



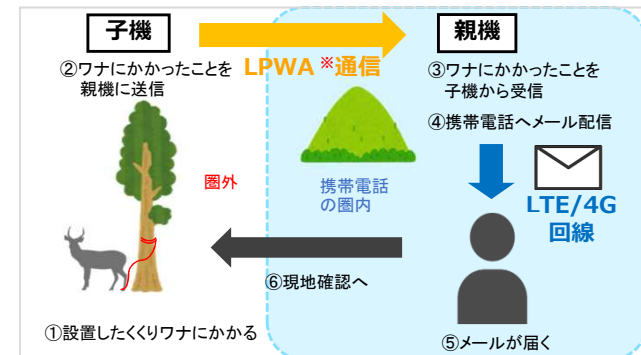
設置したワナ。周りに餌を撒き採餌時に前足がかかる。



普及に向けた現地実習（宮崎県小林市）

#### くくりワナ設置後の見回り負担の軽減

くくりワナの見回り負担を軽減できる通信システムを導入。（7署9エリア稼働中）



※Low Power Wide Areaの略称。比較的低速・小容量ながら長距離通信が可能。

## 取組⑧ 市町村等の森林・林業行政への技術支援

- 九州森林管理局で実施する研修において、市町村職員の参加受入れ、フォレスター等活動推進会議及び現地検討会の開催。
- 技術支援情報サイトの充実を図るなど市町村等の森林・林業行政に対する技術的な支援を実施。

### 森林・林業に関する研修への参加受入れ

ドローン研修を新規に受入れ対象研修に追加。

#### 市町村職員の受入れ対象研修



森林の見方研修における現地実習

| 研修名              | 研修の概要                      |
|------------------|----------------------------|
| 基礎研修A<br>(森林の見方) | 森林の見方、森林施業と植生、森林のGIS等の活用 等 |
| 基礎研修B<br>(森林の育成) | 造林の体系、森林被害の種類と対応、治山事業の概要 等 |
| 基礎研修C<br>(森林の収穫) | 収穫調査の手順、路網・作業システムの企画演習 等   |
| ドローン研修           | 森林・林業分野におけるドローン活用方法、操縦実習 等 |

### 市町村向け技術支援のための情報サイトの拡充

マニュアルや事例集の他、研修や現地検討会の情報を掲載。



国営林野学苑における天然力を活用した施業実行マニュアル

技術支援のための情報サイト



### 多岐内容にわたる現地検討会の開催

森林の公益的機能の高度発揮や林業の低コスト化等に資する技術の普及・定着を目的に各地で開催。



低コスト造林に関する現地検討会を筋刈実施箇所にて開催(宮崎県日向市)



労働災害未然防止に関する現地検討会を素材生産現場にて開催(長崎県対馬市)

### 技術者の育成支援への取組

市町村等の森林・林業行政に対する技術的な支援を実施。



フォレスター等活動推進会議(熊本県熊本市)



民間連携支援チーム勉強会(佐賀県伊万里市)

## 取組⑨ 観光資源としての森林空間・森林景観の活用促進

- 優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した国有林をレクリエーションの森に設定し、保健休養の場として提供。
- このうち、特に景観等の優れた箇所については、「日本美しい森 お薦め国有林」として重点的な環境整備等を実施。

### ○ レクリエーションの森のうち

『日本美しい森 お薦め国有林』



#### 福岡県

- ・北九州自然休養林  
わかすぎやま
- ・若杉山風致探勝林



田代原風致探勝林  
(ウンゼンツツジ／長崎県雲仙市)



北九州自然休養林  
(血倉山からの眺望／福岡県北九州市)

#### 佐賀県

- ・虹の松原風致探勝林



くまもと自然休養林  
(菊池渓谷／熊本県菊池市)



向坂山野外スポーツ地域  
(五ヶ瀬ハイランドスキー場  
／宮崎県五ヶ瀬町)

#### 長崎県

- ・田代原風致探勝林  
ありあけやま
- ・有明山風景林

#### 熊本県

- ・くまもと自然休養林  
きはらやま
- ・木原山風景林

#### 宮崎県

- ・向坂山野外スポーツ地域

- ・宮崎自然休養林  
いのはえ
- ・猪八重の滝風景林



西表自然休養林  
(仲間川／沖縄県竹富町)



屋久島自然休養林  
(春のヤマザクラ／鹿児島  
県屋久島町)

#### 鹿児島県

- ・屋久島自然休養林

#### 沖縄県

- ・西表自然休養林

### 屋久杉 巨樹・著名木の調査

屋久島の世界自然遺産登録30周年を機に、3Dレーザーやドローンにより、ヤクスギの形状を正確に記録し、公表予定。



縄文杉



3Dレーザによる計測の様子

### 地域の関係者との連携

地域の住民等と連携した管理等の取組を推進



虹の松原における落ち葉かきの様子  
(佐賀県唐津市)

### 看板情報の充実

国有林内の看板に、見どころ情報の二次元バーコードや多言語表記を追加。



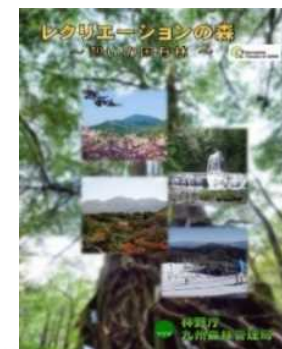
くまもと自然休養林  
(熊本県菊池市)



猪八重の滝風景林  
(宮崎県日南市)

### 農泊事業者等への情報発信

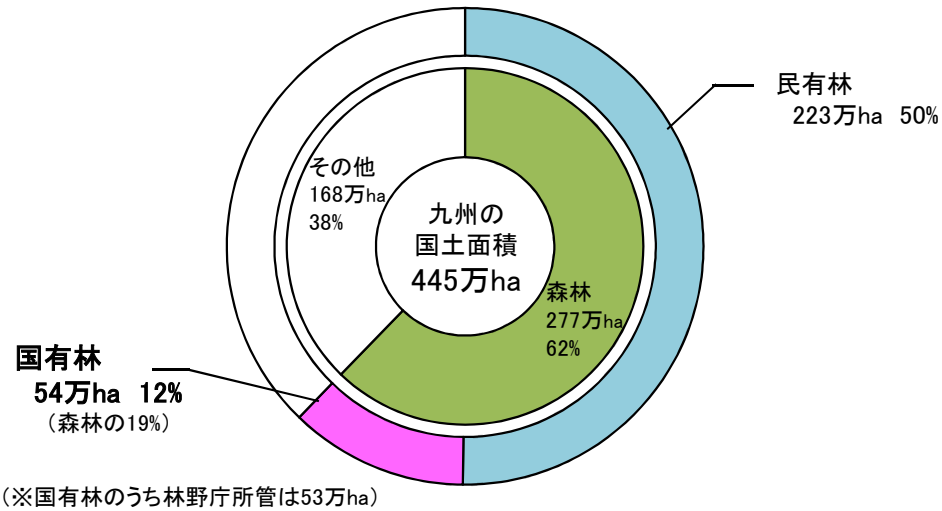
九州農政局と連携し、農泊事業者等へ情報発信。



レクの森パンフレット(局HP掲載)

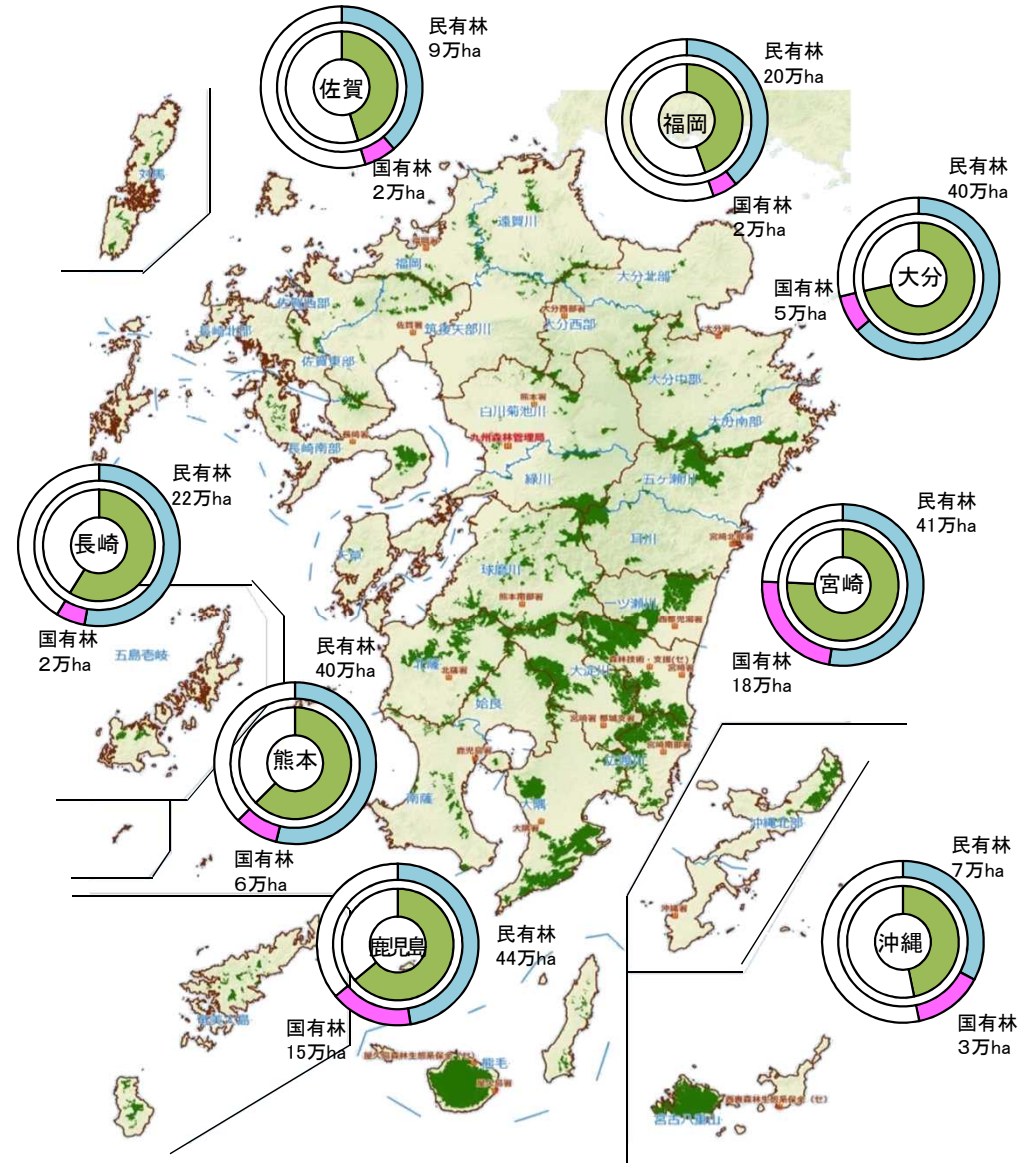
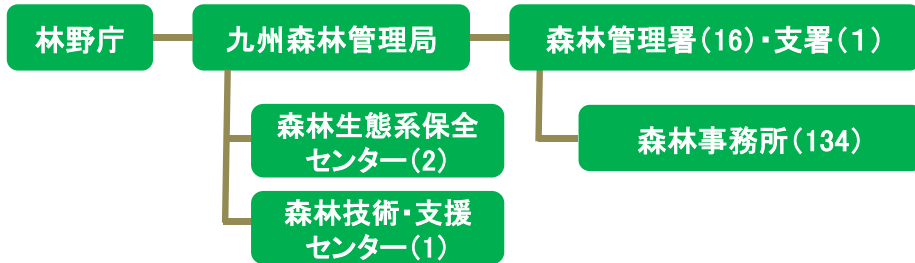


## 九州の森林



## 九州森林管理局の組織

九州森林管理局では、17の森林管理署等を設置し、国有林の管理経営を行っています。



※森林資源の現況(平成29年3月31日現在。国有林には林野庁所管以外を含む)

# 令和5年度 主要事業量

| 項目    | 事業量等(カッコ内は前年度計画)                                |
|-------|---|
| 収穫量   | 2,907 千m <sup>3</sup> ( 2,912 千m <sup>3</sup> ) |
| 主伐    | 1,323 千m <sup>3</sup> ( 1,255 千m <sup>3</sup> ) |
| 間伐    | 1,584 千m <sup>3</sup> ( 1,657 千m <sup>3</sup> ) |
| 木材の販売 |   |
| 立木    | 525 千m <sup>3</sup> ( 515 千m <sup>3</sup> )     |
| 丸太    | 430 千m <sup>3</sup> ( 405 千m <sup>3</sup> )     |
| 森林の造成 | 130 百ha ( 133 百ha )                             |
| 植付    | 12 百ha ( 13 百ha )                               |
| 保育    | 118 百ha ( 120 百ha )                             |

| 項目                     | 事業量等(カッコ内は前年度計画)   |
|------------------------|--------------------|
| 林業専用道等新設               | 7.5 km ( 13.2 km ) |
| 治山<br>※金額は当年度+前年度補正の合計 | 50億円 ( 53 億円 )     |
| 国有林野内直轄                | 33億円 ( 36 億円 )     |
| 民有林直轄                  | 17億円 ( 17 億円 )     |

～各種パンフレットで九州森林管理局の取組を紹介～



九州森林管理局  
ホームページ  
(パンフレット)



九州森林管理局 企画調整課  
熊本市西区京町本丁2-7  
TEL : 096-328-3642



(参考) 森林・林業基本計画(令和3年閣議決定)及びその関係資料より抜粋

## 森林・林業・木材産業による「グリーン成長」について

森林・林業基本計画  
(平成28年閣議決定)



森林・林業基本計画  
(令和3年閣議決定)

人工林が利用期を迎えたこと等を背景に、  
林業・木材産業の「成長産業化」を推進

### 森林・林業・木材産業による「グリーン成長」

森林を適正に管理して、林業・木材産業の持続性を高め  
ながら成長発展させることで、2050カーボンニュートラルも  
見すえた豊かな社会経済を実現

## 「新しい林業」について

生産性や安全性の抜本的な向上を図るため、従来の施業方法等を見直し、エリートツリーや自動操作機械等の新技術を取り入れて、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を目指す取組を展開する。

### 「新しい林業」の展開

#### ○ 造林コスト低減と収穫期間短縮

- ・ドローン等による苗木運搬
- ・伐採と造林の一貫作業
- ・エリートツリー等の活用



#### ○ 林業作業の省力化・軽労化

- ・遠隔操作や自動操作機械等の開発普及



#### ○ 木材の生産流通管理等の効率化

- ・レーザ測量による森林情報の把握、ICTの活用

#### ○ 新技術の導入・産学官連携



伐採から再造林・保育の収支をプラス転換

# シカ影響簡易調査の内容

(取組① シカ影響簡易調査の導入 参考資料)

※(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所九州支所の業務資料を参考に九州森林管理局が作成

## シカ影響調査

- ▶ 林地へのシカの影響度合いを簡単に把握し、林業被害の予測と被害対策の選択に利用できる可能性がある。

## 調査方法

- ▶ シカの痕跡を下表のようにチェックし、点数化し評価する。

| アンケート項目 | 程度  | スコア |
|---------|-----|-----|
| シカ糞     | なし  | 0   |
|         | わずか | 1   |
|         | 目立つ | 3   |
| 剥皮／角擦り  | なし  | 0   |
|         | わずか | 1   |
|         | 目立つ | 3   |
| 道端植生の食痕 | なし  | 0   |
|         | わずか | 2   |
|         | 目立つ | 3   |
| シカ道     | なし  | 0   |
|         | あり  | 2   |
| 足跡      | なし  | 0   |
|         | あり  | 2   |

### シカ影響スコア

(Deer Impact Score)

合計 **13** 点



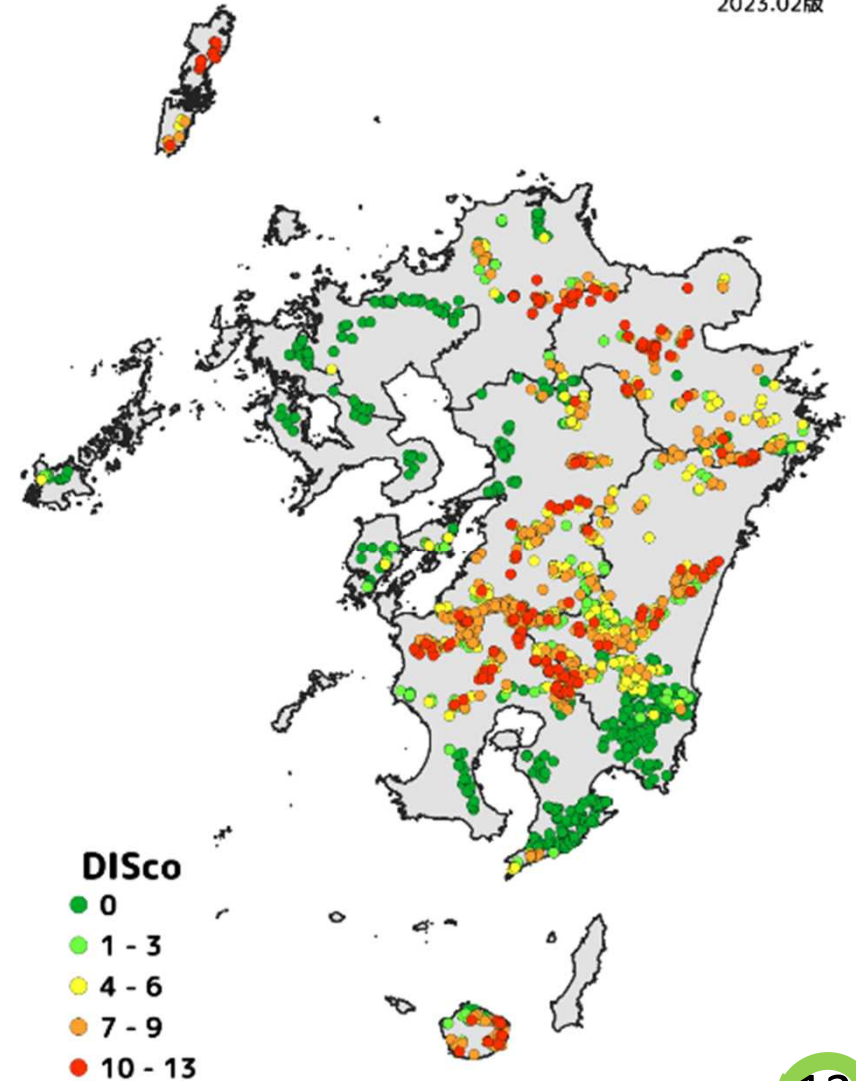
造林地におけるシカ影響レベルを評価。



九州森林管理局では、シカ影響スコアの低い1～3点の地域において、経費の高いシカの侵入を防ぐシカネットの省略の可否を判断する取組を試行的に導入。

### シカ影響スコア(DISco)マップ

2023.02版

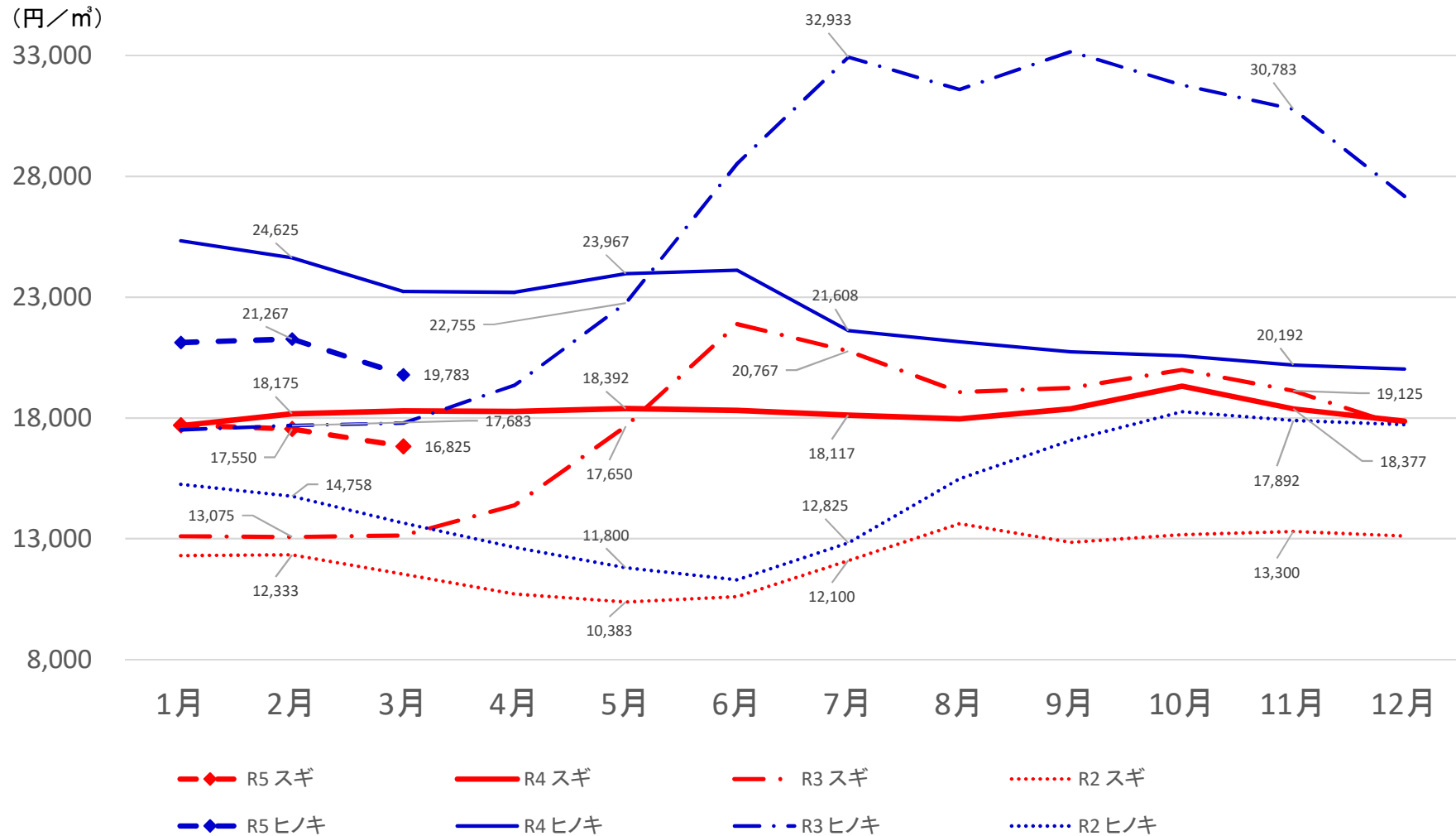


13

# 九州地域における木材価格の推移

(取組④ 木材の需給動向等を踏まえた供給調整 参考資料)

## ■スギ・ヒノキの丸太価格の推移

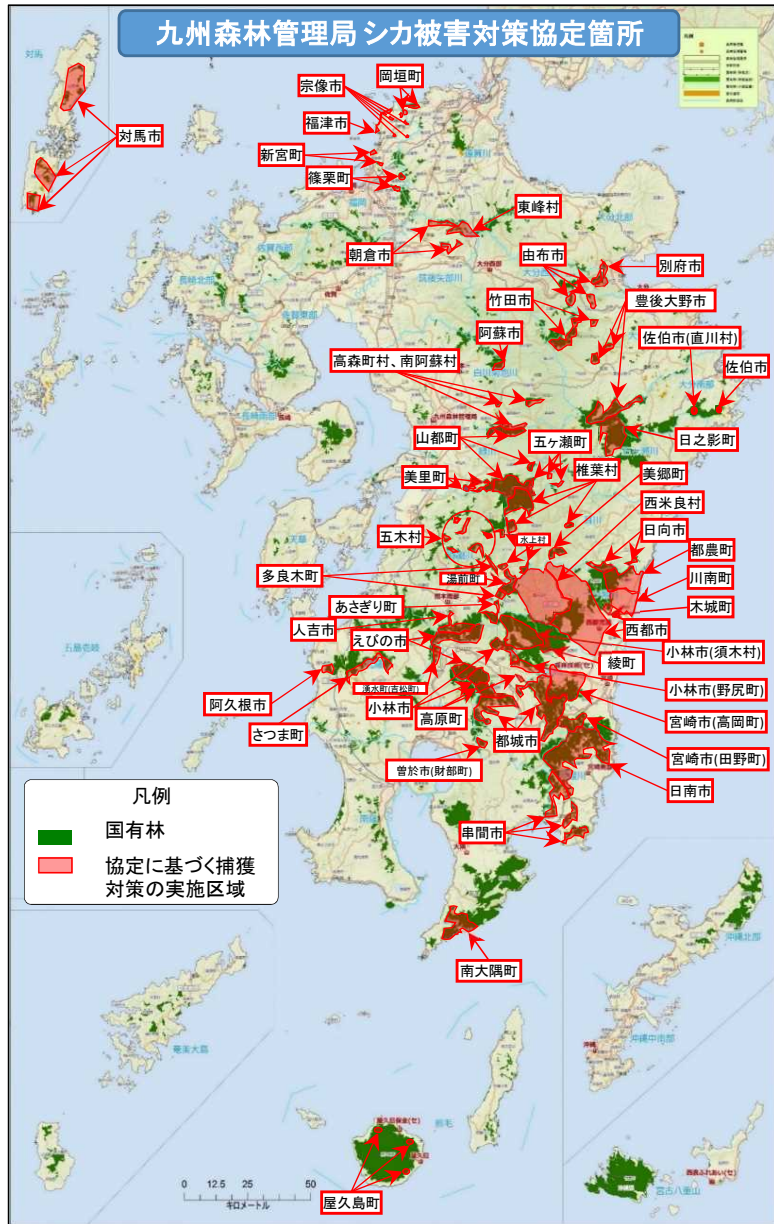


※ 価格は九州管内6市場の3m16~18cm直及び4m18~22cm直の平均単価(円/m³)



# シカ被害対策協定の締結等の状況

(取組⑦) シカ被害対策協定の締結によるシカ捕獲の推進 参考資料)



| 県   | 市町村       | 協定締結日     | 県        | 市町村       | 協定締結日     |
|-----|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 福岡  | 東峰村       | H28.9.21  | 宮崎       | 宮崎市(田野町)  | H28.8.1   |
|     | 朝倉市       | R1.7.9    |          | 木城町       | H28.8.31  |
|     | 篠栗町       | R2.2.17   |          | えびの市      | H28.11.22 |
|     | 岡垣町       | R3.12.21  |          | 小林市(野尻町)  | H29.4.3   |
|     | 宗像市       | R4.8.4    |          | 小林市(須木村)  | H29.4.3   |
|     | 新宮町       | R5.3.14   |          | 西都市       | H29.4.7   |
|     | 福津市       | R5.3.17   |          | 西米良村      | H29.8.21  |
| 長崎  | 対馬市       | H29.6.19  | 五ヶ瀬町     | H29.11.21 |           |
| 熊本  | 山都町       | H26.3.19  | 小林市      | H30.3.19  |           |
|     | 高森町、南阿蘇村  | H26.6.20  | 美郷町      | H30.7.9   |           |
|     | 湯前町       | H28.6.8   | 日向市      | H31.2.5   |           |
|     | 美里町       | H29.6.7   | 高原町      | H31.2.5   |           |
|     | 五木村       | H30.2.9   | 串間市      | R1.8.5    |           |
|     | 水上村       | H30.7.2   | 日南市      | R1.8.27   |           |
|     | 人吉市       | H30.8.29  | 川南町      | R2.7.9    |           |
|     | 阿蘇市       | H30.12.19 | 綾町       | R3.8.24   |           |
|     | あさぎり町     | R1.10.10  | 宮崎市(高岡町) | R3.9.27   |           |
|     | 多良木町      | R5.3.27   | 都農町      | R3.12.22  |           |
|     | 別府市       | H28.11.14 | 都城市      | R5.1.31   |           |
|     | 豊後大野市     | H29.1.23  | 屋久島町     | H22.10.13 |           |
|     | 佐伯市(直川村)  | H29.8.17  | 湧水町(吉松町) | H23.11.7  |           |
| 竹田市 | H29.9.21  | 阿久根市      | H28.8.1  |           |           |
| 佐伯市 | H30.9.10  | さつま町      | H30.3.30 |           |           |
| 由布市 | H30.10.16 | 曾於市(財部町)  | R4.1.26  |           |           |
| 宮崎  | 椎葉村       | H25.9.9   | 南大隅町     | R4.9.6    |           |
|     | 日之影町      | H27.7.13  |          |           |           |